

2番 裛地照夫です。

議員となり1年が経ちましたが、不慣れに伴う緊張の連続で、無我夢中の毎日が慌ただしく通り過ぎ、あっという間の1年間だったと振り返っております。

今、思えば周りの景色はもちろん近くで咲く花でさえ心おだやかに眺める気持ちの余裕も無かったなと感じております。

気がつけば遠くに見える色濃くなった山の景色、手入れされた庭先の色とりどり花が咲く通りすがりの風景など、自然に目に入るようになって来ました。

この事で言えば、ようやく2年生に進級できたかなと、自己診断しているところで御座います。

今後とも町民の方々の小さな声に耳を傾け、微力ではありますが町政発展の一助となればと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

そのような中、「これからの町の将来に不安やさみしさを感じる」との住民の声を耳にしました。

未来づくりプランの基、適切な対策が施されていると感じていた事から、少しがっかりする言葉でしたが、内容を

伺ってみると単に昔を懐かしむだけの話しでもなく共感する部分も多いと感じたところで御座います。

一次産業が細り、人口が減って、町全体から活気が無くなってしまった、かつては金銭的にも決して安定している生活ではなかったが、そんな中にも人々や町に活気と賑わいがあふれていた、当時の半分以下となってしまった現在の人口では、あの頃の活力に満ちた町の風景を取り戻すことは無理なんだろうかと諦め混じりのお話しでありました。

たしかに昭和 50 年ころからの人口減少はとどまることがなく、近年は減少比率において県内市町村で上位にランクされるなど更に深刻であります。

なぐさめを言えば人口減少対策は国を上げて取り組んでいるものの、成果が見えて来ない社会現象的な部分も有ります。また、県下においての人口減少率は自然災害の影響もはらんでいると思われる事から、災害からの復旧を終えたこれからは、人口減少のスピードをどのくらい弱められるかが正念場だと思っております。

また、現在のかたちの岩泉町が誕生して以来、社会も人

も大きく変わってしまうのが当たり前の70年、そんな記念の節目を迎えるこれからの街づくりこそが、この町の将来を決めるものとも思っております。

各地域においては地域振興協議会などが中心となり、その地に合った賑わいの創出に懸命に取り組んでいるところでありますが、賑わいの捉え方は人により異なることや、必ずしも数だけに左右されるものでもないと思っております。

この先は活力や賑わいのある町をアクションにより、どれだけ印象付けられるかだと思います。

これまでの歴史の歩みを胸に刻み、失敗を恐れずチャレンジすることを全面に掲げ、元気な岩泉を築いて行きたいとの、町長の想いは全力で応援する所存ではありますが、町内外の方々が活力を感じられる町のイメージを作り上げるのは町長に託された課題であり、町長の持つ特権でもあると考える事から、このことに対する町長の所見をお伺いし、本席からの質問を終わります。

2番 裛地 照夫 議員の御質問にお答えします。

まずはじめに、地域振興協議会や町内の各団体の皆様
が、人口減少や少子高齢化が進む状況の中、それぞれの地
域で賑わいや活力の創出に懸命にご尽力されていること
により、まちづくりが支えられているものと、深く感謝し
ております。

議員ご案内の、かつての賑わいの姿は、そこに住む方々
が心から楽しみ、一人ひとりが役割を持って地域全体で
喜びを分かち合った結果として生まれてきたもので、こ
の時代の賑わい創出においても、同様に極めて大切なも
のであると思っております。

町を訪れる新しい方々が、本町の自然や文化・生活に触
れ、「あの町は良かった、人も優しい、また行きたい」と
心に深く刻まれるような体験をしていただくこと。そし
て、ここに住む町民の皆様が自らの町に誇りを持てるこ
と。これこそが、私が目指す「賑わい」の本質であります。

このことから、議員ご指摘の「賑わいや活力は、単に
人の数だけでは測れない」というお考えに、深く共感する
ものであります。

先人たちが築き上げた町の歴史や暮らしの知恵を現代
のまちづくりに融合させ、町民一人ひとりが生き生きと
暮らし、訪れる方々にも感動していただけるような町に
してまいります。

町のイメージを作り上げるのは、私たち全員であり、町民の皆様が笑顔で元気に暮らしていける、そのような町づくりに一丸となって取り組んでまいります。

私自身も、その岩泉町のイメージ作りに寄与していくため、これからも全力で汗をかいて仕事をしてまいります。

以上で答弁を終わります。